

宿泊約款

【適用範囲】

第 1 条

1.当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、

この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めない事項については法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）又は一般に確立された慣習によるものとしします。

2.当ホテルが、法令等及び習慣に反しない範囲での特約に応じた時は、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとしします。

【宿泊契約の申し込み】

第 2 条

1.当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする方は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。

(1)宿泊客名

(2)宿泊日及び到着予定時刻

(3)宿泊料金(原則として別表第 1 の基本宿泊料金による)

(4)a.申込者名及びその連絡先

b.宿泊料金の支払い者名及びその連絡先

(5)その他当ホテルが必要と認める事項

2.宿泊客が、宿泊中に前項第 2 号の宿泊日を越えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルはその申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

【宿泊契約の成立等】

第 3 条

1.宿泊契約は当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとしします。

2.前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間の基本宿泊料として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までにお支払いいただきます。

3.申込金は、まず宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第 6 条及び第 18 条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば第 12 条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4.第 2 項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとしします。但し、申込金の支払い期日を指定するにあたり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

【申込金を要しないこととする特約】

第 4 条

1.前条第 2 項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2.宿泊契約の申し込みを承諾するにあたり、当ホテルが前条第 2 項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払い期日を指定しなかった場合、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

（施設における感染防止対策への協力の求め）

第 4 条の 2

当ホテルは、宿泊しようとする者に対し、旅館業法(昭和 23 年法律第 138 号)第 4 条の 2 第 1 項の規定による協力を求めることができます。

【宿泊契約締結の拒否】

第 5 条

1.当ホテルは、次に掲げる場合は、宿泊契約の締結を拒むことができるものとしします。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第 5 条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

(1)宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。

(2)満室により客室の余裕がないとき。

(3)宿泊しようとする者が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき。

(4)宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められたとき。

イ)暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成 3 年法律第 77 号)第 2 条第 2 号規定する暴力団(以下「暴力団」という)、同上第 2 条第 6 号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会勢力。

ロ)暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。

ハ)法人でその役員のうちに暴力団員に該当するものがあるもの。

(5)宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成 25 年法律第 65 号。以下「障害者差別解消法」という。)第 7 条第 2 項又は第 8 条第 2 項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）。

(6)宿泊しようとする者が、旅館業法第 4 条の 2 第 1 項第 2 号に規定する特定感染症の患者等(以下「特定感染症の患者等」という。)であるとき。

(7)天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。

(8)宿泊しようとする客が、泥酔等で他の宿泊客及びホテル従業員に著しく迷惑を及ぼす恐れがあると認められたとき。あるいは宿泊客が他の宿泊客及びホテル従業員に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。

(9)宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。

(宿泊契約締結の拒否の説明)

第5条の2

宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

【宿泊客の契約解除権】

第6条

- 1.宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 2.当ホテルは宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部または一部を解除した場合(第3条第2項規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げるところにより違約金を申し受けます。但し、当ホテルが第4条1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるにあたって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払い義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 3.当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合はその時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

【当ホテルの契約解除権】

第7条

- 1.当ホテルは、次に掲げる場合は、宿泊契約を解除することがあります。ただし、本項は、当ホテルが旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。
 - (1)宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
 - (2)宿泊客が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ)暴力団、暴力団員、暴力団構成員又は暴力団関係者その他の反社会勢力。
 - ロ)暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。
 - ハ)法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの。
 - (3)宿泊に関し暴力的行為が行なわれ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき(宿泊客が障害者差別解消法第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。)。
 - (4)宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。
 - (5)宿泊客が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
 - (6)天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - (7)宿泊客が、泥酔等で他の宿泊客及びホテル従業員に著しく迷惑を及ぼす恐れがあると認められたとき。あるいは宿泊客が他の宿泊客及びホテル従業員に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (8)寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る)に従わないとき。
 - (9)宿泊客が次条の規定する登録・呈示等を行なわないとき。
- 2.当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊契約解除の説明)

第7条の2

宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

【宿泊の登録】

第8条

- 1.宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
 - (1)宿泊客の氏名、住所及び連絡先
 - (2)日本国内に住所を有しない外国人にあっては、国籍及び旅券番号
 - (3)その他、当ホテルが必要と認める事項
- 2.宿泊客が第12条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等、通貨に代わり得る方法により行なおうとするときは、あらかじめ前項の登録時にそれらを呈示していただきます。
- 3.外国人にあっては、本人確認のための旅券を呈示していただきます。

【客室の使用時間】

第9条

1. 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌日午前11時までとします。但し、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日利用することができます。
各宿泊契約ごとに設定されたチェックイン時間からチェックアウト時間がござい場合は、設定時間が優先となります。

2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

(1) 午前 11 時以降の超過 1 時間当たり

- ・スイートルーム、ジュニアスイートルーム 1 室 ¥7.000-を追加
- ・ガーデンヴィラ、グランドコテージ 1 室 ¥4.000-を追加
- ・その他のお部屋タイプ 1 室 ¥3.000-を追加

(2) 18 時間以降は、基本室料の 100%

【利用規則の遵守】

第 10 条

1.宿泊客は、当ホテル内において、当ホテルが定めてホテル内に提示した利用規則に従っていただきます。

【営業時間】

第 11 条

1.当ホテルの主な施設等の営業時間は次の通りとし、その他の施設等の詳しい営業時間は各所の掲示、客室内のディレクトリー等でご案内いたします。

フロントサービス等

イ 門限なし

ロ フロント 24 時間

ハ キャッシャー 24 時間

2.前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には適切な方法をもってお知らせします。

【料金の支払い】

第 12 条

1.宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定法は、別表第 1 に掲げるところによります。

2.前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた宿泊券、クレジットカード等、これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際、又は当ホテルが請求したとき、フロントにおいて行なっていただきます。

3.当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になった後、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

【当ホテルの責任】

第 13 条

1.当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行にあたり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。但し、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

【契約した客室の提供ができないときの取り扱い】

第 14 条

1.当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、出来る限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。

【宿泊客の手荷物又は携帯品の保管】

第 15 条

1.宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際にお渡しします。

2.宿泊客がチェックアウトした後、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられた場合において、当ホテルは原則として所有者からの照会の連絡を待ちその指示を求めるものとします。但し、所有者の照会、指示がない場合又は所有者が判明しないときは、遺失物法に基づき処理します。

【駐車責任】

第 16 条

宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。

【宿泊責任】

第 17 条

1.宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

別表第1

宿泊料金等の算定方法(第2条第1項、第3条第2項、第12条第1項参照)

税法が改正された場合は、その改正された規定によるものとします。

内訳	精算
宿泊者が支払うべき総額宿泊料金	-
1.基本料金(室料)	-
2.サービス料	1×10%
3.消費税	(1+2)×消費税率
4.飲食料及びその他の料金	-

別表第2

違約金(第6条第2項参照)

ご予約の お取消し日	ご予約人数（取消料率）		
	1名~9名	10名~40名	41名~
不泊	100%	100%	100%
当日	100%	100%	100%
1日前	50%	80%	80%
2日前	30%	50%	80%
3日前	30%	50%	80%
7日前	20%	30%	50%
14日前	—	—	30%
20日前	—	—	20%

別表第2に関する補足

- 1.%は、基本宿泊料又は団体の場合は見積金額に対して発生します。
- 2.連泊案件の場合、各宿泊日に対して規定による算出を致します。
- 3.別途契約を締結した場合は、その内容を優先致します。
- 4.ご夕食は7日前より100%発生いたします。

2025 年 9 月 1 日改正

利用規則

オクマプライベートビーチ&リゾートでは、お客様に安全且つ快適にご利用いただくため、宿泊約款第 10 条に基づき次のとおり利用規則を定めておりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

本規則をお守りいただけないときは、やむを得ず宿泊約款第 7 条第 1 項によりご宿泊並びにホテル内施設のご利用をお断り申し上げ、且つ当ホテルが被った損害をご負担いただく場合もございますので、特にご留意くださいますようお願い申し上げます。

1.客室ご利用について

- (1)客室よりの避難経路図は、客室入口ドアの裏側に掲示してありますのでご確認ください。
- (2)ご在室中や特にご就寝の際には、必ず内鍵とドアガードをお掛けください。
- (3)ドアがノックされたときは、ドアガードを掛けたままドアを開けるか、ドアスコープでご確認下さい。また、不審者の来訪に際しては不用意に開扉をなさらず、フロントデスクにご連絡ください。
- (4)当ホテルは全室禁煙(電子タバコ含む)です。喫煙は所定の喫煙場所にてお願いいたします。
- (5)客室にて喫煙が発覚した場合には、1 泊分の客室代金を請求させていただく場合がございます。
- (6)火災になりやすい場所での喫煙はご遠慮ください。
- (7)その他火災の原因となる行為はご遠慮ください。
- (8)客室内では暖房用、炊事用などの火器等火災の原因となりやすいものをご使用にならないでください。
- (7)ホテルの許可なく客室を営業行為或いは集会行為(展示会、パーティーその他)の為に使用する等、ご宿泊以外の目的でのご利用はご遠慮ください。
- (8)ホテルの許可なく客室内の備品を移動したり、また客室内に造作を施し、あるいは改造する等、現状の著しい変更はご遠慮ください。
- (9)ホテルの外観を損なうようなものを窓側に置かないでください。
- (10)ご訪問客とのご面会はロビーでお願いいたします。
- (11)宿泊登録者以外のご宿泊は固くお断りします。
- (12)客室内の備品は客室外に持ち出さないでください。
- (13)館内外の諸設備、備品の汚損、破損、紛失については実費を申し受けます。

2.お部屋の鍵について

- (1)ご滞在中お部屋からお出掛けの際は、客室のキーを必ずお持ちになり施錠をご確認ください。（当ホテルは自動施錠になっております）
- (2)ホテル内のレストラン・売店・ビーチメニュー・エコツアー等をご署名によってご利用になる場合は客室キーをご提示ください。

3.お支払い等について

- (1) お会計はご出発の際にフロントにてお願いいたします。なお、ご滞在中でも都合により会計をお願いする場合がありますのでその都度お支払いください。
- (2) 到着時にお預かり金を申し受ける事がございますので、予めご了承ください。
- (3) お買い物代、切符代、タクシー代、郵便切手代、荷物送料等の立て替えはお断りさせていただきます。
- (4) 客室内の電話をご利用の際は、利用料が加算されますのでご了承ください。
- (5) 法定の税金の他、サービス料として 10%を加算させていただいております。
- (6) 旅行者用小切手以外の小切手によるお支払い及び両替はお断りいたします。
- (7) ご予定のご宿泊日数を変更される場合は、予めフロントにご連絡ください。ご延長の場合は、それまでの宿泊日数分のお支払いをお願いいたします。

4.貴重品、お預かり品について

- (1)ご滞在中の現金、有価証券、その他貴重品の保管については、客室に備え付けのセーフティーボックス(無料)をご利用ください。万が一紛失、盗難等が発生した場合、当ホテルではその責任を負いかねますのでご了承ください。なお、美術品、骨董品等の品物はお預かりいたしかねます。
- (2)ホテル内での遺失物の処理は、一定期間ホテルが保管し、その後は遺失物法に基づいてお取り扱いさせていただきます。
- (3)クロークでのお預かりものは、所定の期間を経過しても連絡がない場合、次の期間を限度とし、お引き取りの意思がないものとして処理させていただきます。

5.ホテル内では他のお客様のご迷惑になる下記の持ち込み、又は行為はご遠慮ください。

- (1)動物、鳥等のペット(但し、介助犬、 ペット同伴宿泊可能な部屋でのペット 【犬に限る】 同伴は可能です)

- (2)火薬、揮発油、その他の発火、又は引火性の物
 - (3)悪臭及び強い臭いを発する物
 - (4)法により所持を禁じられている鉄砲、刀剣、覚醒剤、麻薬の類
 - (5)ホテル外から飲食物を持ち込む等
 - (6)賭博や風紀を乱すような行為、又は他のお客様の迷惑になるような言動
 - (7)浴衣、バスローブ、スリッパ等でパブリックエリアに出ること
 - (8)広告宣伝物の配布、物品の販売、勧誘等
 - (9)ホテルの許可なく、ホテル内で撮影した画像又は動画を営業上の目的で使用する事
- ※当ホテル敷地内や館内での撮影については撮影ポリシーに準ずる。
- (10)緊急事態、或いはやむを得ない事情を除き、非常階段、屋上、機械室など、お客様用以外の施設に立ち入ること
 - (11)未成年者だけの宿泊は保護者の許可がない限りお断りいたします

6.暴力団及び暴力団員、並びに公共の秩序に反する恐れがある場合について

- (1)「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成 4 年 3 月 1 日施行)による指定暴力団及び指定暴力団員等の当ホテル利用はご遠慮いただきます。(ご予約後、或いはご利用中にその事実が判明した場合には、その時点でご利用をお断りいたします。)
 - (2)反社会的団体及び反社会団体員(暴力及び過激行動団体など並びにその構成員)の当ホテルご利用はご遠慮いただきます。(ご予約後、或いはご利用中にその事実が判明した場合には、その時点でご利用をお断りいたします。)
 - (2)暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求及びこれに類する行為が認められるような行為をされた方についても当ホテルのご利用をご遠慮いただきます。
 - (3)当ホテルを利用する方が心身耗弱、薬品等による自己喪失などご自身の安全確保が困難であったり、他のお客様に危険や恐怖感、不安感を及ぼす恐れがあると認められるときは、直ちにご利用をお断りいたします。
 - (4)その他、上記各事項に類する行為が認められた場合は、ご利用をお断りいたします。
 - (6)旅行者用小切手以外の小切手によるお支払い及び両替はお断りいたします。
- (8) 予定の宿泊日数を変更される場合は、予めレセプションにご連絡ください。ご延長の場合は、それまでの宿泊日数分のお支払いをお願いいたします。

2025年9月1日改正

Terms and Conditions for Accommodation

[Scope of Application]

Article 1

1. Contracts for accommodation and related agreements concluded between the Hotel and the Guest shall be governed by the provisions of these Terms and Conditions. Any matters not stipulated herein shall be governed by applicable laws and regulations or established customs.

2. Notwithstanding the preceding paragraph, the Hotel may accept special agreements insofar as they do not contravene laws, regulations, or established customs. In such cases, the special agreements shall take precedence.

[Application for Accommodation Contract]

Article 2

1. Persons wishing to apply for an accommodation contract with the Hotel shall provide the following information:

(1) Name of the Guest

(2) Date(s) of stay and estimated time of arrival

(3) Accommodation charges (in principle, based on the basic charges in Appendix 1)

(4) a. Name and contact information of the applicant

b. Name and contact information of the payer

(5) Other information deemed necessary by the Hotel

2. If the Guest wishes to extend the stay beyond the initially agreed dates during the period of stay, such request shall be treated as a new application for an accommodation contract at the time it is made.

[Conclusion of Accommodation Contract]

Article 3

1. The accommodation contract shall be deemed concluded when the Hotel accepts the application set forth in the preceding article.

2. Upon the conclusion of the contract, the Guest shall pay an advance deposit, determined by the Hotel, by the date designated by the Hotel as part of the basic accommodation charge.

3. The deposit shall be applied first to the total accommodation charge to be paid by the Guest. In the event that cancellation fees or damages arise under Articles 6 and 18, the deposit shall be applied in the following order: cancellation fees, then compensation. Any remaining amount shall be refunded at the time of final settlement in accordance with Article 12.

4. If the Guest fails to pay the deposit by the designated date, the accommodation contract shall be null and void. However, this shall apply only when the Hotel has clearly informed the Guest of the payment deadline at the time of setting said date.

[Special Provisions Not Requiring Advance Deposit]

Article 4

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding article, the Hotel may accept a special agreement that does not require the payment of an advance deposit after the contract is concluded.

2. If the Hotel does not request payment of the deposit as prescribed in Paragraph 2 of the preceding article or does not specify a due date for the payment, it shall be deemed that the Hotel has agreed to such a special provision.

[Request for Cooperation Regarding Infection Prevention Measures in the Facility] Article 4-2

The Hotel may request cooperation from prospective guests with respect to infection prevention measures as stipulated in Article 4-2, Paragraph 1 of the Hotel Business Act (Act No. 138 of 1948).

[Refusal to Conclude an Accommodation Contract]

Article 5

1. The Hotel may refuse to conclude an accommodation contract in the following cases. However, this does not imply that the Hotel may refuse accommodation for reasons other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act:

(1) When the application does not comply with these Terms and Conditions

(2) When the Hotel is fully booked and no rooms are available

(3) When the prospective guest is deemed likely to act in violation of laws, public order, or good morals in regard to the stay

(4) When the prospective guest falls under any of the following categories:

a. Organized crime groups, members of such groups, or related individuals as defined under the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members

b. Corporations or organizations controlled by such groups or members

c. Corporations with officers who are members of such groups

(5) When violent or unreasonable demands are made, exceeding the reasonable scope of accommodation services (except where the request is made under the Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities)

(6) When the guest is a patient of a designated infectious disease as defined in Article 4-2, Paragraph 1, Item 2 of the Hotel Business Act

(7) When accommodation is rendered impossible due to natural disaster, facility malfunction, or other unavoidable reasons

(8) When the prospective guest is found to be intoxicated or otherwise likely to disturb other guests or staff, or has already behaved in a significantly disruptive manner

(9) When the prospective guest repeatedly makes requests that impose an excessive burden on the Hotel and significantly interfere with the provision of accommodation services to other guests, as defined under Article 5-6 of the Hotel Business Act Enforcement Regulations

[Explanation of Refusal to Conclude an Accommodation Contract]

Article 5-2

If the Hotel refuses to conclude an accommodation contract in accordance with the preceding article, the prospective guest may request an explanation of the reason.

[Right to Cancel the Accommodation Contract by the Guest]

Article 6

1. The Guest may cancel the accommodation contract by notifying the Hotel.

2. If the Guest cancels the contract in whole or in part due to reasons attributable to the Guest (except in cases where the Hotel has requested payment of a deposit and the Guest cancels before payment), the Hotel shall charge a cancellation fee as outlined in Appendix 2. However, if the Hotel has accepted a special provision under Article 4, Paragraph 1, cancellation fees shall only apply if the Guest was notified of such obligation at the time the special provision was accepted.

3. If the Guest does not arrive by 8:00 p.m. on the scheduled check-in date (or two hours after the stated estimated arrival time), without prior notice, the Hotel may treat the contract as cancelled by the Guest.

[Right to Cancel the Accommodation Contract by the Hotel]

Article 7

1. The Hotel may cancel the accommodation contract in the following cases. However, this does not imply that the Hotel may refuse accommodation for reasons other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act:

(1) When the Guest is deemed likely to act in violation of laws, public order, or good morals, or has committed such acts

(2) When the Guest falls under any of the following categories:

a. Organized crime groups, members thereof, or related individuals

b. Corporations or organizations controlled by such groups or members

c. Corporations with officers who are members of such groups

(3) When the Guest makes violent demands or unreasonable requests exceeding the acceptable scope (excluding requests made under the Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities)

(4) When the Guest is a patient of a designated infectious disease

(5) When the Guest repeatedly makes unreasonable requests that impose an excessive burden on the Hotel and significantly interfere with services to other guests

(6) When accommodation becomes impossible due to force majeure such as natural disasters

(7) When the Guest is intoxicated or otherwise acts in a way that significantly disturbs other guests or staff

(8) When the Guest smokes in a prohibited area, tampers with fire safety equipment, or otherwise violates rules essential for fire prevention

(9) When the Guest fails to complete the registration or identification process under the next article

2. If the Hotel cancels the contract based on the above, no charges shall be levied for services not yet rendered.

[Explanation of Cancellation by the Hotel]

Article 7-2

If the Hotel cancels the accommodation contract in accordance with the preceding article, the Guest may request an explanation of the reason.

[Guest Registration]

Article 8

1. On the day of stay, the Guest shall register the following information at the Hotel's front desk:

- (1) Name, address, and contact information of the Guest
- (2) Nationality and passport number (only for non-residents of Japan)
- (3) Other information deemed necessary by the Hotel

2. If the Guest intends to pay the accommodation charges using a voucher, credit card, or other non-cash method, the Guest must present such method at the time of registration.

3. Foreign guests are required to present their passport for identification.

[Use Hours of Guest Rooms]

Article 9

1. Guest rooms are available for use from 3:00 p.m. on the day of arrival to 11:00 a.m. on the day of departure.

However, for consecutive stays, rooms may be used throughout the day except on the days of arrival and departure.

If check-in and check-out times are otherwise specified in the accommodation contract, those shall take precedence.

2. The Hotel may accommodate extended use beyond the stated hours. In such cases, the following additional fees will apply per hour after 11:00 a.m.:

- Suite / Junior Suite: ¥7,000 per hour
- Garden Villa / Grand Cottage: ¥4,000 per hour
- Other room types: ¥3,000 per hour
- After 6:00 p.m.: 100% of the basic room charge

[Compliance with Hotel Regulations]

Article 10

1. Guests shall comply with the Hotel Rules posted within the hotel premises as stipulated under Article 10 of the Accommodation Terms.

[Business Hours]

Article 11

1. The main facilities of the Hotel operate during the following hours. Other facilities' business hours are posted in designated locations or in-room directories.

Service hours of the Front Desk, cashier, etc.:

- No curfew
- Front Desk: 24 hours
- Cashier: 24 hours

2. These hours may be temporarily changed due to unavoidable circumstances. Any such changes shall be announced appropriately.

[Payment of Accommodation Charges]

Article 12

1. The breakdown and calculation method of accommodation charges are specified in Appendix 1.

2. Charges are payable in cash or via accommodation vouchers, credit cards, or other methods accepted by the Hotel, at the time of departure or upon the Hotel's request, at the front desk.

3. If the Guest voluntarily does not stay after the Hotel has made the room available, the full accommodation fee will still be charged.

[Hotel Liability]

Article 13

1. The Hotel shall compensate the Guest for damages arising from the performance or non-performance of the accommodation contract unless such damages are not attributable to the Hotel.

[When Contracted Room Cannot Be Provided]

Article 14

1. If the Hotel cannot provide the contracted room, it shall, with the Guest’s consent, attempt to arrange alternative accommodation of equivalent conditions.

[Custody of Baggage and Personal Belongings]

Article 15

1. If the Guest’s luggage arrives at the Hotel before their stay, the Hotel shall store it responsibly only if prior approval has been obtained, and hand it over at check-in.
2. If luggage or personal belongings are left behind after check-out, the Hotel will wait for contact from the owner and follow instructions. If no instructions are received or ownership cannot be determined, the items will be handled according to the Lost Property Act.

[Parking Liability]

Article 16

If the Guest uses the Hotel parking lot, the Hotel shall provide the space and is not responsible for the management of the vehicle, regardless of whether the keys are entrusted.

[Guest Liability]

Article 17

1. If the Hotel incurs damages due to intent or negligence by the Guest, the Guest shall compensate the Hotel for said damages.

Appendix 1: Calculation Method for Accommodation Charges (Ref. Paragraph 1 of Article 2, Paragraph 2 of Article 3 and Paragraph 1 of Article 12)

Subject to changes in tax law

Item	Payment Details
Total charges due from Guest	
1. Basic Room Charge	
2. Service Charge (10%)	1 × 10%
3. Consumption Tax	(1+2) × tax rate
4. Food & Beverage / Others	

Appendix 2: Cancellation Charges (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

Cancellation Date	1. Number of Guests (Cancellation Charge Rate)		
	1–9 Guests	10–40 Guests	41+ Guests
No-show	100%	100%	100%
Same Day	100%	100%	100%
1 Day Prior	50%	80%	80%
2 Days Prior	30%	50%	80%
3 Days Prior	30%	50%	80%
7 Days Prior	20%	30%	50%
14 Days Prior	—	—	30%
20 Days Prior	—	—	20%

Notes:

1. Percentages are based on the basic room rate or the quoted estimate for group bookings.
2. For multiple-night stays, the cancellation fee is calculated per night.
3. In the case of a separate agreement, the contract terms shall take precedence.
4. For dinner reservations, a 100% cancellation fee applies from 7 days prior.

Hotel Rules and Regulations

At Okuma Private Beach & Resort, we have established the following rules and regulations in accordance with Article 10 of our Terms and Conditions for Accommodation to ensure our guests enjoy a safe and pleasant stay. We kindly ask for your cooperation.

Please note that failure to comply with these regulations may result in denial of accommodation and use of hotel facilities under Article 7, Paragraph 1 of the Terms and Conditions for Accommodation. In such cases, you may also be held liable for any damages incurred by the hotel. Thank you for your understanding and cooperation.

1. Use of Guest Rooms

1. Please check the evacuation route posted on the back of the guest room door.
2. Always use the inner lock and door guard while in the room, especially when sleeping.
3. If someone knocks, use the door guard or the peephole to verify their identity. Do not open the door to suspicious individuals; contact the front desk.
4. All guest rooms are non-smoking, including electronic cigarettes. Please smoke in designated areas only.
5. If smoking is detected in the guest room, a fee equivalent to one night's stay may be charged.
6. Do not smoke in areas that pose a fire hazard.
7. Refrain from any behavior that may cause a fire.
8. Do not use heating or cooking equipment that could cause a fire in the room.
9. Do not use the room for purposes other than accommodation without the hotel's permission (e.g., business activities or parties).
10. Do not move furnishings or make modifications to the room without permission.
11. Do not place anything on the windows that affects the exterior appearance of the hotel.
12. Meet visitors in the lobby, not in guest rooms.
13. Only registered guests are allowed to stay in the room.
14. Do not remove room furnishings or items from the room.
15. Damages, stains, or loss of hotel property will be charged at cost.

2. Room Keys

1. Always carry your room key and confirm the door is locked when leaving. (The hotel uses automatic locks.)
2. Please present your room key when signing for services at restaurants, shops, beach rentals, and eco tours.

3. Payment

1. Please settle your bill at the front desk upon departure. Interim payments may be requested during your stay.
2. A deposit may be required upon check-in.
3. The hotel does not offer cash advances for shopping, tickets, taxis, stamps, shipping fees, etc.
4. Telephone usage from the room may incur charges.
5. A 10% service charge will be added in addition to legally mandated taxes.
6. Personal checks and foreign currency exchange are not accepted (except traveler's checks).
7. Please inform the front desk in advance of any changes to the length of your stay. Additional charges apply for extended stays.

4. Valuables and Deposits

1. Please use the in-room safety box (free of charge) to store cash, securities, and other valuables. The hotel is not responsible for any loss or theft.
2. The hotel will handle lost items according to the Lost Property Act after a certain retention period.
3. Items left at the cloakroom will be retained for a designated period. If unclaimed, they will be disposed of accordingly.

5. Prohibited Items and Conduct

Please refrain from bringing in or doing any of the following items that may cause inconvenience to other guests in the hotel.

1. Animals, birds or other pets (excluding assistance dogs and permitted dogs in designated pet-friendly rooms)
2. Explosives, flammable liquids, and other hazardous items

3. Items with offensive odors
4. Firearms, swords, illegal drugs, and other prohibited substances
5. Outside food and beverages
6. Gambling, acts that disturb public morals, or behavior that inconveniences other guests
7. Entering public areas in yukata robes, bathrobes, or slippers
8. Distribution of advertisements, sales, or solicitation
9. Using images or videos taken on hotel premises for commercial purposes without permission (subject to hotel's photography policy)
10. Entering restricted areas such as emergency staircases, rooftops, or mechanical rooms, except in emergencies
11. Minors may not stay alone without guardian consent

6. Concerning Potential Threats to Public Order or Involvement with Organized Crime Groups

1. The Hotel does not permit the use of its facilities by individuals or groups affiliated with designated organized crime groups or designated members thereof, as defined under the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (enforced on March 1, 1992). Should such affiliation be discovered after a reservation is made or during the stay, the Hotel reserves the right to refuse accommodation or continued use of facilities at that point.
2. The Hotel similarly prohibits the use of its facilities by individuals or members of anti-social organizations (including violent or extremist groups and their affiliates). If such affiliations are identified after booking or during the stay, accommodation will be refused immediately.
3. The Hotel reserves the right to refuse accommodation to any person who engages in acts of violence, threats, extortion, coercive or otherwise unreasonable demands, or similar conduct.
4. If a guest is deemed unable to ensure their own safety due to mental or physical impairment, loss of self-control from drug use or other causes, or is likely to cause fear, anxiety, or harm to other guests, the Hotel will immediately refuse accommodation.
5. The Hotel also reserves the right to refuse accommodation in any other cases where conduct equivalent to the above is observed.
6. Payment by personal checks other than traveler's checks and any currency exchange services are not accepted.
7. If you wish to change the length of your stay, please notify the reception in advance. In the event of an extension, payment for the nights already stayed will be required.

date of revision 2025-Sep-1